

ベストサービスアワード通信

April.2013

第9回ベストサービス賞 「社会人としての一歩」

賞金
30万円



障がい者支援施設 みずさわ

【取り組み内容】

地域での自立した生活に向けて、日中活動の充実という枠だけではなく「社会人としての自覚を持つこと」について意識的に取り組んだレポート。

また、働いて給料を稼ぎ、自立した生活を送りたいという利用者の思いを『職員として雇用する』という発想に結び付け、全国的にも過去に例のない、今後の知的障がい者の就労支援のあり方に影響を与える取り組み。

【喜びのコメント】

この度は、このような素晴らしい賞を頂き、ありがとうございました。今回「社会人としての一歩」を発表させて頂き、利用者さんの気持ちをまず第一に考え、支援していくことの大切さを改めて実感させられました。障がい者雇用を始めるにあたっては、施設長をはじめ職員や関係機関の方など、様々な方々の協力を頂きました。ありがとうございました。今後も利用者さんの気持ちを第一に考えた支援を行っていきたいと思っています。また、今回の発表を他施設、関係機関に発信していくことで、障がい者雇用が増えていく「一歩」になればと思います。本当にありがとうございました。

障がい者支援施設みずさわ 浮谷祐士

グットサービス賞 通所介護事業所 甲田

賞金
10万円

みんなちがってみんないい
～こんなデイサービスってステキやん??～

【喜びのコメント】

今回の取り組みを始めたのが、平成24年8月からでした。振り返ってみると本当にあっという間で、この数ヶ月の間、まさに駆け抜けて来たと言う感じです。この取り組みを行うにあたり、何度も何度もミーティングを重ね、時には熱い気持ちがあふつかり合い、涙を流す事もありました。心が折れそうになる事もありました。しかし、理想の追求の為、メンバー全員で頑張ってきて良かったと思います。来年こそはNo1を取りに行きたいと思っています。

通所介護事業所 甲田

岡田祐太、赤嶺洋、水戸典子、渡邊チアキ、沖本亜希、迫田聖子、原田久美子

評価委員特別賞 京町いづみ保育園

賞金
10万円

明日を担う子供たちのために
～事故発生報告書～

【喜びのコメント】

この度は、「評価委員特別賞」をいただきありがとうございました。子供の事故をなくすのは大変むずかしいことですが、少なくとも環境設定や大人の不注意からの事故は防ぎたいと思い全職員が取り組みました。若い職員も経験のある職員も各々の立場で考え、意見交換をしていく経過を大切に、共通認識をもてたことは良かったです。今後も子どもの笑顔と保護者の安心、職員の働きがいの為、力を合わせて参ります。

京町いづみ保育園

近藤啓太、山田有香、鷹取由美、牧山久代

グットサービス賞 重症児・者福祉医療施設 原

賞金
10万円

お風呂でリラックス！
～体動の激しい利用者を安全に入浴介助する試み～

【喜びのコメント】

この度は、グットサービス賞を頂き誠にありがとうございます。

今回の取り組みは、重心の全介護職員で頭を悩ませ、意見を出し合い試みてきたことです。多くの職員による協力と、利用者様本人の成長により、課題を達成できたことを、大変嬉しく思います。

今後も、もっともっと快適な入浴サービスとして提供できるよう、がんばろうと思います。

本当にありがとうございました。

重症児・者福祉医療施設 原

香川裕光、濱中さやか、重心全介護職員

最終選考会ノミネートレポート 賞金1万円

【レトロ体験～昔語りてハリのある楽しい時間を～】

この度は、発表の場を頂きありがとうございました。この取り組みを通して、普段の生活では見る事のできない利用者的一面を見る事ができました。今後も職員一丸となって利用者にはイキイキと楽しく生活していただけるよう、色々な事に挑戦していこうと思います。

老人保健施設あすらや荘 松本志保、佐藤愛、段島由佳

【絆～ピクニック～】

最終選考にノミネートされ、とても嬉しく思います。原稿から立案まで相談員や周りの皆に助けられ発表に望みましたが・・・残念でした。ですが、色々な方々と絆が深まりました。次のチャレンジに向けて挑戦していきたいです。ありがとうございました。

特別養護老人ホームひうな荘 縫部方英、坂根春奈、相原真沙美

【心声を聞いて!!～Good my life～】

ベストサービスアワード最終選考会ノミネートに選出させて頂き、ありがとうございました。今回利用者の方、ご家族の方の思いを受け止め添えるよう支援した事をレポートにまとめました。その過程で他の方々の心声を聞かなければと気付かされました。

障害者支援施設白木の郷 仁賀奈緒美、矢田美鳥、竹村一郎、谷本祐二

【人生最後を 最高に!!】

今年度、部署目標を決めみんなで取り組んでいた事をベストサービスとしてまとめ発表させていただきました。それを選出して下さった事は、私達の自信にもなり、一段とチームの絆を強くしてくれました。この取り組みを応援して下さいみなさんに感謝します。

特別養護老人ホーム甲田 松笠由香、上田絢子、増田瑞穂



【備えあれば憂いなし～ こんな時の為の非常食 これが三篠会の非常食 もっと充実非常食～】
 この度は、大変素晴らしい賞へノミネートする事ができ、とても嬉しく思います。非常食については、他職種の方にはあまり知られていないので、これを機に、みなさんへの理解が深まれば嬉しい限りです。ありがとうございました。

重症児・者福祉医療施設鈴が峰 港季美恵、増田智美



【皆でいっしょに1.2.3 ハイ！！】

廊下での練習を始めた事がきっかけとなり、「ちょっとなら」と参加して頂き驚きと喜びを感じる事が出来ました。それを評価して頂いて、とてもうれしく思っています。

特別養護老人ホームゆたか園 伊川康子、山口亜紀子、沖西美枝



【救護院卒業式～自立生活に向けて～】

今回初めてチャレンジレポートに挑戦しノミネートされ、皆さんの前で発表ができ、大変嬉しく思っています。今後も利用者の日々の生活の中で、色々な角度から自立への可能性を考え、一人でも多くの方の自立支援を行っていきます。

救護施設 救護院 竹川多津子、西岡宏、橋口英雄



【It's miracle !!ウチはこれで減りました！！】

ノミネートありがとうございました。私たちの日々の積み重ねが、評価され発表できた事をとても嬉しく思います。「利用者様に快適な生活を過ごして頂きたい！」と思い始めた取組でした。今後もこの気持ちを忘れず、幅広い視野で新たな事に挑戦して行こうと思います。

重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎 大野しのぶ、今野純子



【エンシュアにさようならを言う日まで！】

私達の日々行っている具体的な支援の結果、利用者の生活が改善された時に支援者として喜びを感じます。素晴らしい支援をしたと、職員が称えるのではなく、良い支援は利用者が判断することだということを忘れず、ノミネートに奢ることなく、今後も利用者と共に生きていきたいと思えます。

障がい者支援施設みずさわ 大高玲

【推進事務局より】

第9回ベストサービスアワードにご参画いただきました皆様、大変ありがとうございます。また、ベストサービス賞を受賞されたみずさわの皆様におかれましては誠にありがとうございます。法人の枠を超えて、全国的にも前例がないと思われる取り組みにチャレンジされた熱意に敬意を表します。

今年のチャレンジレポートは、個々のご利用者を取り上げ、その方の課題を整理し、対策やアプローチの仮説を立て、実践・検証・反省・修正を計画的かつ継続的に試みたレポートが多かったように思います。施設のシステムや制度を改善する取り組みももちろん必要ですが、言うまでもなく、個々の支援に対するキメ細かな個別の配慮がなければ、福祉サービスとしては決して十分とは言えません。その意味において、改めてサービス提供の原点を学ばせていただいたベストサービスアワードであったように思います。

次回は10回目になります。故酒井慈玄前理事長も毎年楽しみにしていたこのベストサービスアワードの節目にあたり、現場における皆様の更なる熱意と工夫にご期待申し上げます。

理事長 酒井亮介

【ベストサービスアワードの流れ】

業務改善やサービス向上などの取り組みをまとめたレポートを提出



1次選考(施設内選考) 12月末日



2次選考(評価委員選考) 1月下旬



最終選考会(レポート発表&表彰)
 ベストサービス賞 30万円(1組)
 グットサービス賞 10万円(2組)
 評価委員特別賞 10万円(1組)
 最終選考会ノミネートレポート

1万円(13組)

社会福祉法人三篠会
 ベストサービスアワード推進事務局
 平成25年4月発行